

第 1 章

本調査研究の背景、目的及び方法

第1章 本調査研究の背景、目的及び方法

第1節 背景及び目的

1 アセスメントシートとは

アセスメントシートは 2023 年に障害者職業総合センターで開発したアセスメントツールである（障害者職業総合センター，2023a,b）¹。ここでいうアセスメントとは、「本人の就労能力や適性の客観的な評価を行うとともに、本人と協同して就労に関するニーズ、強みや職業上の課題を明らかにし、ニーズを実現するために必要な支援や配慮を整理すること」である（厚生労働省，2022）。

アセスメントシートは、対象者の①就労に関する希望・ニーズ、②対象者の就労のための作業遂行・職業生活・対人関係に関する現状（就労のための基本的事項）、③対象者と環境との相互作用の視点による就労継続のための望ましい環境についての情報を、支援者と対象者が協同で収集、整理することにより、両者が対象者のストレングス（長所）や成長可能性、就労する上での課題等を適切に理解し、就職に向けた必要な支援や配慮を検討することを目的としている。

アセスメントシートによるアセスメントは、対象者から提供される情報のほか、作業場面や職場実習の観察により支援者が把握した対象者の適応状況に関する情報、家族や関係機関から提供される情報、他のチェックリストやワークサンプル、検査等の情報を総合的に活用して実施する。また支援者と対象者が、個別面談場面を通じて協同に必要な情報を収集、整理し、支援者は対象者の意見や自己評価を確認しながら協同でアセスメントを行う。

2 アセスメントシートの特徴

アセスメントシートの特徴としては、①対象者と支援者の協同評価方式、②対象者と環境との相互作用の視点、③対象者のストレングスへの着目が挙げられる。

① 対象者と支援者の協同評価方式

アセスメントは対象者の就労の可否を判定したり、就労可能性の高低を評価したりするものではなく、あくまでも必要な支援や配慮を検討することを目的として行われるものである。このため、当事者である対象者の希望・ニーズや自己評価を踏まえた対象者が納得できるものであることが望まれる。

また、必要な支援や配慮を検討するためには、対象者が就労に関する自己理解を深めるとともに、対象者と支援者が就労に関する現状を適切に理解し、両者の評価に違いがあればすり合わせておくことが有効である。

このような考え方に基づいて、アセスメントシートによるアセスメントは協同評価方式を採用している。具体的にはシートⅡ（就労のための基本的事項）とシートⅢ（就労継続のための環境）において、対象者と支援者が協同で評価を行い、両者の評価が一致しない場合は、具体的な情報に基づくそれぞれの現状認識をすり合わせていく。このことが対象者の自己理解と支援者の対象者理解の深化につながると考えられる。

¹ アセスメントシートは独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センターの次の Web ページからダウンロードすることができる。<https://www.nivr.jeed.go.jp/research/kyouzai/kyouzai78.html>

② 対象者と環境との相互作用の視点

職業生活を構成する様々な活動において、対象者がどの程度の能力を発揮できるかは、身体・認知機能の状態や健康状態といった個人の要因だけで決まるわけではない。職場においてどのような支援や配慮を受けることができるかといった環境からの影響を受ける。

また、職場で障害を開示するかどうかといった個人の要因は、職場において受けることのできる支援や配慮の範囲、つまり環境に影響を与える。

個人と環境は互いに影響を与え、影響を与えられる相互作用の関係にあり、相互作用の結果が職業生活を構成する諸活動における能力の発揮状況に現れることになる。

対象者に必要な支援・配慮を検討する際は、「対象者のストレングスを引き出す環境（職務内容等を含む）はどのような環境なのか」、「苦手なことが現れにくい環境にするにはどのような支援や配慮が必要なのか」、「対象者が希望する環境で働くにはどのような学びや体験が必要になるか」といった個人と環境との相互作用の視点でアセスメントすることが重要になる。

アセスメントシートはこのような考え方にに基づき、シートⅡ（就労のための基本的事項）においては、支援・配慮がない場合と必要な支援・配慮が得られた場合の対象者の作業遂行等に関する現状を評価することとしている。また、シートⅢ（就労継続のための環境）において対象者の就労継続のための望ましい環境を検討することとしている。

③ 対象者のストレングスへの着目

ストレングスとは、「長所」や「強み」のことを指している。障害者を支援する際には、対象者が持っている力や強さに着目し、それらを引き出し、支援に活用することが大切である。そのため、必ずしも他者と比べて優れている点だけでなく、対象者の能力、意欲、嗜好などの個人のストレングスや、対象者を支援する支援者や家族などの環境のストレングスを含めて考える必要がある。

アセスメントシートではシートⅡ（就労のための基本的事項）において、各項目に書かれた事項について就職のアピールポイントになる長所があればストレングスになると評価する。この評価は支援を受けたことにより発揮される場合もあれば、個人内比較により長所としてアピールすべきものもストレングスと評価される。

3 アセスメントシートの構成

アセスメントシートは Excel ファイルであり、全部で8つのシートからなっている。

①表紙、②対象者説明シート、③Ⅰ_就労に関する希望・ニーズ、④Ⅱ_就労のための基本的事項（項目選択用）、⑤Ⅱ_就労のための基本的事項（評価用）、⑥Ⅲ_就労継続のための環境（領域選択用）、⑦Ⅲ_就労継続のための環境（評価用）、⑧Ⅳ_アセスメント結果シート

このうち主なシートは次の3つである。

Ⅰ_就労に関する希望・ニーズ

対象者の就労に関する希望・ニーズを把握共有するためのアセスメントシートである。

項目は10領域（職歴、就労等の希望、働く動機・目的、就職活動、職種・仕事の内容、一般就職する際の労働条件・通勤、職場環境、合理的配慮、ストレングス（長所）、支援サービス）の33項目である。

II_就労のための基本的事項（評価用）

対象者の就労のための基本的事項の現状について具体的な情報を基に明らかにするためのアセスメントシートである。

就労のための基本的事項とは、多くの職場において必要とされる基本的な作業遂行・職業生活・対人関係の適応に関する状況を指している。

評価項目は3領域（作業遂行、職業生活、対人関係）の44項目で、全ての対象者のアセスメントに推奨する推奨項目（17項目）と対象者の状況に応じて選択してアセスメントを行う選択項目（27項目）からなっている。

III_就労継続のための環境（評価用）

対象者の障害状況、希望・ニーズ、就労のための基本的事項等の現状を踏まえ、対象者と環境との相互作用の視点から就労継続を妨げる要因の見通しを発生予防的な観点から検討することで就労継続のための望ましい環境を明らかにするためのアセスメントシートである。

項目は就労継続を妨げる要因となり得る10領域（「職務への適応」、「労働条件の設定・変更」、「職場の人に障害のことを理解し配慮してもらうこと」、「職場の設備・機器等」、「職場のルールや指示を理解し守ること」、「職場での適応行動・態度」、「体調、疲労・ストレス、不安、感情コントロール等」、「症状の悪化・再発、二次障害」、「家族のサポート、家庭環境の変化、友人等との関係性」、「職場の人間関係」）の53項目である。

4 本調査研究の目的

アセスメントシートについては、効果的に活用するための実践知の蓄積が十分でないことが課題となっている。このような現状を踏まえ、アセスメントシートの活用方法、活用事例等の実践知を収集し、アセスメントシートの効果的な活用方法を検討することを目的とする。

第2節 方法

本調査研究ではアセスメントシートの効果的な活用方法を検討するうえで、①アセスメントシートの活用状況と活用事例等の情報収集、②効果的な活用方法等の検討、③効果的な活用方法のとりまとめを行った。

1 アセスメントシートの活用状況と活用事例等の情報収集

アセスメントシートを活用している又は活用しようとしている全国の就労支援機関（就労移行支援事業所（以下「移行支援事業所」という。）、障害者就業・生活支援センター（以下「就業・生活支援センター」という。）、ハローワーク及び障害者職業総合センター職業センター（以下「職業センター」という。））に、アセスメントシートの活用方法、活用事例等の情報提供を質問紙調査等の方法により依頼し、これらの情報を収集した。

2 効果的な活用方法等の検討

1の質問紙調査等による情報をもとに、就労支援機関でアセスメントを実施した担当者へのインタビュー調査（Web会議システムを利用）を行い、アセスメントシートの活用における工夫や課題などを聴取した。その結果を踏まえ、必要に応じ学識経験者・アセスメント実務者からの助言も得つつ、効果的な活用方法等を検討し、「活用ガイド（試作版）」を作成した。

3 効果的な活用方法のとりまとめ

作成した「活用ガイド（試作版）」について、2でインタビュー調査を行った就労支援機関等から意見を収集し、「活用ガイド（試作版）」を改良することにより、アセスメントシートの活用方法等を具体的に分かりやすくまとめた「活用ガイド」を作成した。

引用文献

障害者職業総合センター 調査研究報告書 No.168 (2023a)「就労困難性（職業準備性と就労困難性）の評価に関する調査研究―「就労支援のためのアセスメントシート」の開発―」

障害者職業総合センター マニュアル、教材、ツール等 No.78 (2023b)「就労支援のためのアセスメントシート活用の手引」

厚生労働省 労働政策審議会障害者雇用分科会意見書 (2022)「今後の障害者雇用施策の充実強化について」